

ごあいさつ

校長 榎本 崇

時代の潮流は、加速度的に進行し、Society5.0 に向かって私たちの生活が便利になることと併せて、GIGA スクール構想に象徴されるように教育の在り方も変化し続けています。新型コロナウイルス感染症による世界の混乱は概ね収束し、失われつつあった教育文化も徐々に戻ってきています。そして、学校においては前例踏襲を見直しながら、一つ一つの教育的価値を見極め、教育活動が精選されているところです。今後は、令和の日本型教育といわれる新たな教育の価値を構築していくことは、学校の使命といえます。

多くの課題を前にして臆したり、予測困難な未来に不安を持ったりすることは、誰しもあることです。社会の変化に受け身であれば、そのような思いは一層強くなるでしょう。そうではなく、未来は今の延長線上にあるという意識を持ち、今をどう生きるかが大切なことです。

人生100年時代。22世紀は遠い未来ではありません。人は、社会の変化に対して主体的に向き合い、関わり合い、過程を大切にし、経験と知識を積み上げ、心を鍛え、自分の可能性を広げ、よりよい社会の形成者となり、幸せな人生を歩んでいくのです。つまり、一人一人が身体的・精神的・社会的に良い状態であることをめざし、生きがいや豊かさなど将来にわたる持続的な幸福である“ウェルビーイング”(well-being)を高めていくことです。

予測困難な未来を生き抜くために、子供たちは、自らの力で人生を切り開き幸せな人生を実現しなければなりません。同時に、社会の中での関わりを通して他者を幸せにしていく力もまた必要です。子供たちの中に、自律と自立、共生と共創の精神が醸成され、実践できることが大切です。

そのために、学校は、「子供たちに自信をつける」ことが大切であると考えます。

自分に自信が持てれば、物事に前向きになれる。前向きな姿勢は、前向きな目標を生み出します。目標が持てれば、やるべきことが見えてきます。気づき、考え、進んで活動します。目標を達成し成功体験を積み重ねれば、未来への希望が湧いてきます。希望はいつしか具体的な夢へと変わっていきます。夢は生きていくための心のエネルギーです。心のエネルギーは、成長とともに志へと変化します。志をもって自己実現を目指した営みの連続がウェルビーイングへとつながるのです。

しかし、子供たちに自信をつけることはそんなに簡単なことではありません。実際には、うまくいったこと、そうではなかったことを行きつ戻りつしな

がら、少しずつ自分の中にエネルギーがたまって自信につながるものです。そして、エネルギーの蓄積のスピードは、子供の数だけです。

だからこそ、私たち教職員は、一人一人の子供にとことん寄り添い続ける必要があります。未完成な子供たちが、自分の足で歩けるようになるまで、社会生活の中で自分を生かし他者を生かし、ともに生きることができるようになるまで、失敗と成功を繰り返させながらも、粘り強く子供たちを育んでいきます。

大井西中学校が、子供たちの自律・自立・共生・共創をめざし、感謝・感動・共感にあふれた教育活動の場となるよう、チーム一丸となって取り組んでまいります。

令和7年4月1日

【大井西中学校教職員 7つの行動指針】

- 1 私たちは、生徒に寄り添い続けます。
- 2 私たちは、生徒の学力を伸ばします。
- 3 私たちは、生徒を生かし、伸ばす学年・学級経営を行います。
- 4 私たちは、安全・安心な教育環境の維持に努めます。
- 5 私たちは、フォロワーシップをもって互いに助け合い、職務を全うします。
- 6 私たちは、保護者・地域等と連携協力し生徒を育てます。
- 7 私たちは、教育の専門家として学び続けます。